

〔資料〕 埼玉大学社会調査研究センター・NHK 報道局共同調査 「さいたま市民の政治・選挙に関する意識調査（シニア調査）」結果

・調査の背景－投票弱者の存在

2019年、埼玉県はまれにみる選挙イヤーであった。4月の統一地方選挙に始まり、7月の参議院の通常選挙、8月に知事選挙、さらには10月の参議院の補欠選挙と、ほぼ半年の間に4つの選挙が続いた。けれども、投票率は芳しいものではなかった。4月の県議選が35.52%、7月の参院選は46.48%、8月の知事選が32.31%、そして10月の参院補選は20.81%と、低率に終始した。

さいたま市選挙管理委員会は、国政、地方を問わず毎回の選挙に際して、全有権者に関する投票率を捕捉し、ウェブサイトで公開している。〔表1〕は、19年7月に実施された参院選の投票率を、年齢および性別にブレイクダウンした結果である。まずは若年層、とりわけ20代の低投票率が目に入

ってくるだろう。次いで、男女別の数値を年齢にそって見て行くと、女性の80歳以上の比率が、36.95%と極端に低いことが判明する。同じ女性の70代と比べ約26ポイント低落している。80歳以上を男女間で比較すると、女性の方が約20ポイントも低い。男性の80歳以上は、同じ男性の70代に比べ、比率の低落度合いは女性のように大きくはない。

同表の有権者数が、女性の80歳以上における投票率の落ち込みの要因を示唆してくれる。80歳以上は、男性の32,535人に対して女性は52,452人と約2万人多い。この差からは、必然的に、単身の高齢女性の存在が推測されよう。

引き続き、〔表2〕を参照されたい。これは、参院選の3か月前の19年4月に実施された、さいた

〔表1〕

性別・年齢別投票結果
【参議・県選出】(2019.7)

性別	男			女			さいたま市全体		
	当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)
年齢別									
18・19歳	12,946	5,033	38.88	12,172	4,718	38.76	25,118	9,751	38.82
20歳代	71,246	21,546	30.24	69,479	22,211	31.97	140,725	43,757	31.09
30歳代	83,359	31,203	37.43	79,179	30,783	38.88	162,538	61,986	38.14
40歳代	107,642	47,530	44.16	101,560	44,832	44.14	209,202	92,362	44.15
50歳代	90,802	48,112	52.99	84,433	45,159	53.49	175,235	93,271	53.23
60歳代	70,953	45,352	63.92	69,945	43,359	61.99	140,898	88,711	62.96
70歳代	64,943	44,397	68.36	75,775	47,434	62.60	140,718	91,831	65.26
80歳以上	32,535	18,263	56.13	52,452	19,382	36.95	84,987	37,645	44.30
計	534,426	261,436	48.92	544,995	257,878	47.32	1,079,421	519,314	48.11

〔表2〕

性別・年齢別投票結果
【市議】(2019.4)

性別	男			女			さいたま市全体		
	当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)	当日有権者数 (人)	投票者数 (人)	投票率 (%)
年齢別									
18・19歳	12,534	4,034	32.18	11,995	3,868	32.25	24,529	7,902	32.21
20歳代	66,833	13,006	19.46	65,216	13,565	20.80	132,049	26,571	20.12
30歳代	81,290	21,702	26.70	77,261	22,567	29.21	158,551	44,269	27.92
40歳代	106,533	34,992	32.85	100,664	35,013	34.78	207,197	70,005	33.79
50歳代	88,843	35,073	39.48	82,900	34,346	41.43	171,743	69,419	40.42
60歳代	70,978	35,461	49.96	70,296	35,865	51.02	141,274	71,326	50.49
70歳代	64,093	37,732	58.87	74,719	41,877	56.05	138,812	79,609	57.35
80歳以上	32,179	16,485	51.23	51,903	18,228	35.12	84,082	34,713	41.28
計	523,283	198,485	37.93	534,954	205,329	38.38	1,058,237	403,814	38.16

ま市議選の投票率をまとめたものである。やはり、80歳以上の女性における顕著な落ち込みが見受けられる。〔表1〕と〔表2〕を比較すると、女性の80歳以上を除く他の年齢層については、いずれも、参院選の投票率の方が市議選よりも10ポイント程度高いことがわかる。国政選挙か地方選挙かという選挙の種類や、時々の選挙戦の様相あるいはメディアの報道の仕方などに応じて、人々の選挙への関心度や投票への志向性に変動が生ずるのは、極めて自然なことである。

ところが、女性の80歳以上の投票率には、参院選—市議選間にほとんど相違が見受けられない。すなわち、低投票率は、意識や態度、あるいは時宜的要素と関わりのない構造的な要因に依拠しているのではないかという仮説が成り立つ。いわゆる買物弱者と同様に、個人の身体的状態や日々の居住状況などが投票への制約となっているという、「投票弱者」の存在が示唆されよう。

埼玉大学社会調査研究センターが、さいたま市民を対象に2019年6月に実施した意識調査では、同年4月の市議選で「投票しなかった」と回答した人たちに、その理由を聞いている。「投票しなかった」理由に「病気などの体調不良」をあげた比率は、80歳以上で67%を占めており、同回答の全体平均の10%だけでなく、70代の22%と比べても大きく異なる。加えて、80歳以上に関する「病気や体調不良」の比率は、2017年5月の、さいたま市長選後に実施した調査の同一質問に対する54%からも、明確に上昇している(2019年調査、2017年調査結果の詳細は、『政策と調査』第17号:2019.12および第13号:2017.12を参照されたい)。

・調査の方法

「投票弱者の存在とその実態の把握」のために、埼玉大学社会調査研究センターとNHK報道局は、検証の方法について協議を重ねた。現実的可能性という大きなハードルに直面し試行錯誤を繰り返す過程で、探索の第一段階として、民生委員を通じた調査を選択するに至った。幸い、さいたま市の大宮南地区社会福祉協議会にご理解をいただき、同地区の民生委員の方々のご協力を頂戴することができた。

「さいたま市民の政治・選挙に関する意識調査(以下、シニア調査)」は、大宮南地区の民生委員が、各人がケアしている単身の高齢者を訪問する際に、われわれの作成した調査票を渡し、対象者

本人が回答記入後の調査票を返信用封筒に入れ、埼玉大学社会調査研究センター宛てに郵送するという方法を採用した。社会調査の方法に即して言えば、訪問留め置き+郵送回収方式と定義できよう。調査票は、19年7~8月、民生委員の方々にお願いし、担当する高齢者宅の訪問時に直接手渡してもらった。対象者の総数は286名、郵送による返信数は126通、回収率は44%であった。

・調査の結果

後掲の調査票と単純集計結果を参照されたい。まず、Q10の性別の構成を見ると、女性が79%を占めており、多くの単身女性高齢者から回答が寄せられたことが確認できる。

Q2の「選挙の際に、どの程度投票に行っているか」に対する回答結果は、「毎回行っている」が68%と3分の2を占め、「どちらかといえば投票に行くことが多い」の17%を合わせて85%と大多数に達する。他方、「ほとんど投票には行かない」はわずか4%、「どちらかといえば投票に行かない」も7%に過ぎない。先に〔表1〕や〔表2〕で確認した実際の投票率とは、全く異なる回答が寄せられた。

「毎回行っている」と「どちらかといえば投票に行くことが多い」と回答した人たちに、「ふだん、だれと投票に行くか(Q3)」と聞くと、「1人で」が81%で大多数を占め、「家族と」は14%にとどまった。19年6月に一般有権者を対象に実施した「さいたま市民意識調査(以下、市民調査)」で、4月の市議選に「投票した」人たちに聞いた同一質問の結果、「1人で」は43%、「家族と」が55%とは対照的な実態が明らかになる。

次いで、シニア調査で「毎回行っている」と「どちらかといえば投票に行くことが多い」と回答した人たちに、「投票に行く際に、どのような交通手段を利用するか(Q4)」を問うと、「徒歩」が72%で大半を占めた。市民調査における同一質問での「徒歩」の56%と比較しても顕著に高い比率を示している。

これらの結果からは、投票弱者とは対極的な、毎回の選挙に、歩いて投票所に出向き投票する人たちの存在が浮かび上がってくる。高齢の単身女性といっても、われわれのシニア調査に回答を寄せてくれた4割強は、民生委員が日常的にコンタクトの取れる人たちで、しかも、回答記入後の調査票を郵便で返送できる人たちに他ならない。回答者の特性、言い換えるならば、健常者バイアスが反映されていることは否めないであろう。

一方、「ほとんど投票には行かない」と「どちらかといえば投票に行かない」と回答した人たちに、「投票に行かないのはなぜか (Q5)」を聞くと、「足や腰が痛いから」が36%、「病気などで体調が良くないから」の26%が1、2位で大半を占めた。「投票するのが面倒だから」や「政党や政策がよくわからないから」の比率がゼロであることを考え合わせれば、投票には行きたい（行く気はある）が身体的理由でままならないという、投票弱者に相当する人たちの存在を確認することができる。

シニア調査で「ほとんど投票には行かない」と「どちらかといえば投票に行かない」人たちに、再度、「どういう状況ならば投票しようと思うか」を問うた結果では、市民意識調査で比率の高かった「インターネットで投票ができれば」(48%) や、「駅やショッピングセンターで投票できれば」(29%)の割合はわずかに過ぎない。わけでも、「駅やショッピングセンターで投票できれば」がゼロであること、「投票所までの無料バスなどが運行されたら」も7%にとどまることなどからは、投票弱者と買物弱者とが重なり合う存在であることが示唆される。

今回の調査に関しては、調査の対象者となった人たちが、単身の高齢者の中でも、民生委員がコンタクト可能であるという条件が付随する。そうした特定の人たちでさえも、回答比率が示すように、半数以上は捕捉できなかった。加えて、民生委員がリーチできない人たちが日々増加しつつあるという実情を考慮に入れるならば、社会の暗数部分の把握は、今後、いつそう困難になると推測される。われわれの研究の方法論的限界はきわめて高い。

<謝辞>

今回の調査の実施に当たっては、多くの方々のご理解とご協力を頂戴した。とりわけ、大宮南地区社会福祉協議会の小峯政昭会長、同協議会地域福祉コーディネーターの長瀬真弓氏には、いろいろとご配慮をいただいた。調査票の配布に際しては、大宮南地区の民生委員のみなさまにご苦勞をお掛けした。記して謝意に代えたい。最後になったが、回答を寄せてくださった地域のシニアのみなさまに、あらためて御礼を申し述べたい。

(文責：松本 正生)

埼玉大学社会調査研究センター・NHK報道局

「さいたま市民の政治・選挙に関する意識調査」 2019年7月

埼玉大学社会調査研究センターでは、NHK報道局選挙プロジェクトと共同で、いまの政治への関心や選挙への対応などを有権者のみなさまにお聞きし、投票環境整備や効果的な啓発手法を考えるために活用させていただきますと考えております。

ぜひ、ご意見をお聞かせください。回答結果は、統計的に処理して「非常にある△△%」といった形で分析しますので、お名前やご記入内容が外部に公表されることはございません。

回答の記入後は、同封のグリーンの封筒に入れ7月末をめどに返送してください。

お問い合わせ> 埼玉大学社会調査研究センター(担当・菱山=ひしやま)
9時~16時(月曜日から金曜日、祝日を除く) Tel:048-858-3120 Fax:048-858-3115
e-mail: ssrc@gr.saitama-u.ac.jp

この下の Q1 からお答えください

Q1. あなたは、国や地方の政治について、どの程度関心を持っていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 非常に関心を持っている 22%
2. ある程度関心を持っている 63%
3. あまり関心を持っていない 11%
4. 全く関心を持っていない 2%

Q2. 選挙についてお聞きします。あなたは国や地方の選挙の際に、どの程度投票に行っていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 毎回投票に行っている ⇒ Q3△ 68%
2. どちらかといえば投票に行くことが多い ⇒ Q3△ 17%
3. どちらかといえば投票に行かないことの方が多い ⇒ 次頁 Q5△ 7%
4. ほとんど投票には行かない ⇒ 次頁 Q5△ 4%

「1. 毎回投票に行っている」

「2. どちらかといえば投票に行くことが多い」と回答した人への質問

Q3. あなたは、ふだん、どなたと投票に行きますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 1人で 81%
2. 家族と 14%
3. 知人等と 4%
4. その他 —
(具体的に)

Q4. あなたは、投票所に行く際に、どのような交通手段を利用しますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 徒歩 72%
2. 自転車、バイク 22%
3. 自家用車 5%
4. タクシー —
5. 公共交通(JR・私鉄・バスなど)1%
6. その他 —
(具体的に)

「3. どちらかといえば投票に行かないことの方が多い」「4. ほとんど投票には行かない」と回答した人への質問

Q 5. 投票に行かないのは、なぜですか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

1. 足や腰が痛いから 36%
2. 病気などで体調が良くないから 26%
3. 投票するのが面倒だから -
4. 投票所が遠いから 14%
5. 政治や選挙に関心がないから 14%
6. 投票したいと思う候補者がいないから 21%
7. 政党や政策がよくわからないから -
8. 自分が投票しなくても結果は同じだから 21%
9. なんとなく -
10. その他 1%

(具体的に)

Q 6. あなたは、どういう状況ならば投票しようと思いますか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

1. 投票所がもっと近かったら 14%
 2. 投票所までの無料バスなどが運行されたら 7%
 3. タクシーチケットが配布されたら 14%
 4. 駅やショッピングセンターで投票できたら -
 5. 郵送による投票ができれば 43%
 6. インターネットによる投票ができれば 14%
 7. 投票所で無料の健康診断ができれば -
 8. 投票所で地域のイベントがあったら -
 9. 投票すると景品がもらえたら 7%
 10. その他 -
- (具体的に)
11. もう投票に行くことはないと思う 14%

ここからは全員への質問です。

Q 7. 最近の選挙では、80歳以上になると投票率が下がる傾向があります。それについて、あなたは、下記のどちらの影響が大きいと思いますか。あてはまるものを1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 体力や気力の低下 63%
2. 関心の低下 21%
3. わからない 9%

Q 8. あなたは、選挙の投票について、下記のどれに近い考えを持っていますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 投票することは国民の義務である 48%
2. 投票することは国民の権利である 34%
3. 投票する、しないは個人の自由である 14%
4. わからない 2%

Q 9. あなたは、次のA～Fについてどの程度あてはまりますか。それぞれ1つずつ選んで番号に○をつけてください。

A 私はいまの生活に「満足」である。

1. そう思う 23%
2. ある程度そう思う 50%
3. あまりそう思わない 17%
4. そう思わない 8%
5. わからない 2%

B 私はいま「健康」である。

1. そう思う 28%
2. ある程度そう思う 47%
3. あまりそう思わない 18%
4. そう思わない 7%
5. わからない -

C 私は近所づきあいがある。

1. そう思う 33%
2. ある程度そう思う 44%
3. あまりそう思わない 16%
4. そう思わない 7%
5. わからない -

D 私は住んでいる地域の交通事情に満足である。

1. そう思う 42%
2. ある程度そう思う 41%
3. あまりそう思わない 11%
4. そう思わない 4%
5. わからない 1%

E 私は住んでいる地域の医療施設に満足である。

1. そう思う 29%
2. ある程度そう思う 44%
3. あまりそう思わない 18%
4. そう思わない 6%
5. わからない 2%

F 私は地域に貢献している。

1. そう思う 10%
2. ある程度そう思う 40%
3. あまりそう思わない 29%
4. そう思わない 15%
5. わからない 5%

◆最後に、あなた自身について、おうかがいします。

Q10. あなたは男性ですか、女性ですか。

1. 男性 21%
2. 女性 79%

Q11. あなたの年齢は、おいくつですか。

50代 2%

60代 5%

70代 46%

80代 40%

90歳以上 6%

満 歳

Q12. あなたには、日常的に連絡を取り合う親族の方がいますか。

1. いる 94%
2. いない 4%

Q13. あなたのご自宅から投票所へ行くのには、何分くらいかかりますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 5分未満 28%
2. 5分以上～10分未満 40%
3. 10分以上～20分未満 22%
4. 20分以上 9%
5. わからない -

Q14. あなたは、今の住所に住んでどのくらいになりますか。1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 3年未満 -
2. 3年以上～10年未満 8%
3. 10年以上～20年未満 10%
4. 20年以上～30年未満 10%
5. 30年以上～50年未満 43%
6. 50年以上 29%

次のページに続きます。3

Q15. あなたは、下のような団体に加入していますか。あてはまるものすべての番号に○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 1. 政治家の後援会 4% | 9. 宗教団体 5% |
| 2. 自治会 67% | 10. 同好会・趣味のグループ 38% |
| 3. 婦人会 6% | 11. 住民運動・消費者運動・
市民運動の団体 2% |
| 4. 消防団 ー | 12. NPO・地域づくり団体 3% |
| 5. 老人クラブ(老人会) 20% | 13. その他(具体的に) 4% |
| 6. 農協・その他の農林漁業団体 ー | 14. どれにも加入していない 13% |
| 7. 労働組合 ー | |
| 8. 商工業関係の経済団体 ー | |

・ あなたが選挙や政治について日頃感じていることがありましたら、ご自由にご記入ください。

・ あなたの回答について、埼玉大学やNHKから後日あらためてお話をうかがうことは可能です。可能でしたら、お名前とご連絡先をご記入ください。

(お名前)

(ご連絡先)

ご協力ありがとうございました。